※令和４年度以降入学生用

学校番号	3029

令和８年度　理数

教科	理数	科目	（学）理科演習	単位数	化学または地学または物理と合わせて１単位	年次	２年後期
使用教科書	高等学校　生物基礎　（第一学習社）						
副教材等	スクエア最新図説生物（第一学習社）、リードα生物基礎＋生物（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

授業のスピードは速い。授業中は教科書、図説などを広げて講義を聴き、どんなことも聴きもらさないという気概をもって臨んでほしい。また、生物学はいろいろな知識を必要とするので、ふだんから新聞や雑誌、図書などを積極的に読み、最新のニュースをどんどん取り入れる努力が必要である。

授業の受け方

１．講義

ア．授業中は教科書、資料集の該当ページを広げ、本文や図を見ながら話を聞く。

イ．ノートを要領よくとるとともに、教科書、資料集に線を引いたり、印をつけるという心がけが大切。

ウ．わからないことが出てくれば積極的に先生に質問して解決しよう。授業で解答・解説がある問題は事前に解き、わからなかったところなど授業中に理解するようにしよう。

２．演習

ア．家で問題を解いてくる。次の授業で解答・解説がある問題は事前に解き、わからなかったところなど授業中にわかるようにしよう。

イ．自分の解答と比べながら解説を聞く。自分が解けていても誤った考え方をしている場合もあるのでしっかり聞こう。

2　学習の到達目標

細胞、個体、群集など、各レベルでのさまざまな生命現象を知り、その現象を説明する原理を見出そうとするのが生物学を学ぶ態度である。生物が集団となった場合に見られる生命現象や生態系の考え方を学び、科学的な自然観を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	自然の事物・現象に関心や探究心をもち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。	自然の事物･現象の中に問題を見いだし､探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	観察、実験を行い、基本操作を習得するとともに､それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物･現象を科学的に探究する技能を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
後期中間まで	生物の特徴	細胞の研究史 ウイルス 生物の系統関係 真核生物の誕生と進化 光合成、呼吸、発酵 酵素の特徴	a:細胞の基本的な概念を理解している。 b:細胞について考察できる知識を身に着け、表現できる。 c:細胞のはたらきに関心を持ち、自ら意欲的に取り組もうしている。	考査	考査	課題レポート
	遺伝子とそのはたら	塩基の構造と相補性 DNA の研究史 半保存的複製の解明 タンパク質の構造 遺伝暗号の解読 細胞の分化と遺伝子	a: DNA の基本的な概念を理解している。 b:DNA について考察できる知識を身に着け、表現できる。 c:DNA について関心を持ち、自ら意欲的に取り組もうしている。	考査	考査	課題レポート
後期期末まで	ヒトの体の調節	心臓の拍動調節 糖尿病 血液凝固に関するタンパク質 免役ではたらく体液成分 拒絶反応 病原体の認識と情報伝達 抗原抗体反応と血液型	a:恒常性の基本的な概念を理解している。 b:恒常性について考察し、表現できる。 c:体内環境の維持や免疫について関心を持ち、自ら意欲的に取り組もうしている。	考査	考査	課題レポート
	植生と遷移、生態系	種子の散布形式と遷移 常緑樹と落葉樹の分布と葉の環境適応 マングローブ林 生物多様性の 3 つのとらえ方 持続可能な開発目標(SDGs)	a:植生の遷移および生態系の基本的な概念を理解し、知識を身につけている。 b:植生の遷移や生態系への考察ができ、表現できる。 c:バイオームや生態系のバランスと保全について関心を持ち、自ら意欲的に学ぼうとしている。	考査	考査	課題レポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度